

科目名		ディスプレイ演習			
担当教員		大沼 久子		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	演習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		基本的なDisplay・POP・ラッピング技術の習得と販売に繋がる演出力を、店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して学ぶ。 1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示し、評価、解説する。			
学習目標 (到達目標)		Display・POP・ラッピング技術の習得。販売に繋がる演出力を学び、商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策とともに就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。☑			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①検定ガイドブック・ストアオペレーションハンドブック☑ ②おまたせしない実用ラッピング、pop広告制作マニュアル+オリジナル ☑			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	①52WMD ・1年のカレンダーを作る。 ・季節感の表現を学ぶ。			・年間の暦、イベント、生活催事の流れを知る。 ・季節のカラー、生活催事カラーを学ぶ。	
2	②立体構成 基本4種 VP、PP、IPの区分 ・コラージュ ・実技→撮影→企画書作成			・基本の4種をコラージュで形を学ぶ。 ・実際に立体を飾る+季節感を出す ・Sales Pointを理解し表現する。	
3	③平面構成 基本2種 ・コラージュ			平面2種をコラージュを通して基本を学ぶ。	
4	④拡散構成 ・インテリアコーナー A4サイズ2枚 ・コラージュ			立体・平面を応用に活かして拡散で表現する。	
5	⑤テーマカラー設定 ・着色表現でテーマカラー設定と画面の色出しで統一感を出す方法を学ぶ			・インテリアイラストの色を塗りカラー設定する。 ・色の出し方、置き方の法則を学ぶ。	
6	⑥POPラッピングの基本を学ぶ			基本の包み方・POPの書き方を習得する。	
7	⑦VP→Window Displayのドールハウス作り			床、壁、天井の壁紙セレクト→照明→演出する店のプラン→VP表現→TOTALで再現し製作する	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			基本をしっかり学び応用に活かします。演出して終わりでなく見てくれる、買ってくれるお客様にアピールする方法を習得できるように目指します。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		ディスプレイ業界において、30年実務に携わる			